

■ ■ ■ 森田地区との連携事業 ■ ■ ■

森田人Tシャツ～ご当地Tシャツによる人と人を繋ぐ試み (もりのわフェスタ)

生活科学学科 生活デザイン専攻 教授 内山 秀樹

「森田人Tシャツ」は森田ゆかりの素材をデザインしたTシャツを着ていただくことにより、見知らぬ住民同士のコミュニケーションを促し、連帯感を高めることを目的とする企画です。この企画を生活デザイン専攻2回生2名が卒業研究の一環として立案し、取り組みました。

まず、Tシャツのデザインを公募し、「森田人Tシャツ総選挙」と称してもりのわフェスタの来場者にアイロンプリントシート状態で販売し、売れ行きと投票によって商品化するデザインを決めようというものです。

しかし、デザインの公募は思うようにいかず、結果的には、地元のデザイン関係者3名、仁短生7名から寄せられた10のデザインを投票対象デザインとしました。10月17日フェスタ当日は、環境デザイン演習受講生7名が臨みましたが、荒天に加えて学生の来場者への働きかけ不足もあって、デザインを決定できるほどの投票数が集まりませんでした。そこで、急ぎよ11月14日の森田地区文化祭に出展し、投票していただくことにしました。

その結果、1位と3位が地元在住デザイナー、2位が本学学生の作品となりました。Tシャツの商品化については、来年度、主催団体である森田地区文化委員会に担っていただけるよう、Tシャツ総選挙の趣旨説明の動画も制作しました。(右のQRコード)

また、当日夜には、2019年度にチャレンジして好評だったマイアクア壁面へのプロジェクションマッピングのオリジナルコンテンツ『水の尊(みこと)』の再上映で、実像の巫女と映像のコラボシーンがあり、巫女役に弓道経験者のゼミ生が抜擢され、無事大役を演じました。



森田人Tシャツ動画



『水の尊』の巫女役



「もりのわフェスタ」での森田人Tシャツ総選挙



森田地区広報誌に掲載された全作品
(2段目左から1位～3位)